

◆トピック (文責:北海道支部 佐々木)※受入れ開始時期順

【マルハニチロ畜産(株) 札幌工場様】

・10月中旬からモチベーション低下のためずっと欠勤続きだった5期生1名の完全帰国が10月31日に決定したが、帰国当日に組合が宿舎を訪問したところ本人がおらず、宿舎訪問の数時間前に「帰国しない」と一言だけメッセージが残されていた。失踪と断定し、工場様、警察、技能実習機構など各所への報告を行った。実習生やルームメイトなどからもヒアリングし、行先に心当たりはあるものの、住所などの情報はわからないとのこと。欠勤が続く前から専門級試験の受験を拒否、遅刻ばかりするなど、散々自身の都合で周囲を振り回し迷惑をかけていた。何度か指導するも一切謝罪もなくこのような結果となり、非常に憤りを感じる。

・5期生8名の専門級試験合格発表が行われた。結果は全員合格。練習では不安だった人物もいたが、結果を通達すると安堵している様子が見られた。

・今月の現場入場ルール違反は、同じ理由での違反が多かった。ルール自体は認識していると話していたが、うっかり忘れていたとのこと。これまでのサボっているパターンとは違うが、単なる指導のみではもぐら叩きと変わらないため、忘れ防止の対策を行う必要がある。

【マルハニチロ畜産(株) 名寄工場様】

・ここ数カ月腹痛が改善しなかった3期生の男性が完全帰国することとなった。家族も心配しており、本人としても何かあった場合に備え、家族の近くにいたいとのこと。工場様、組合、本人で三者面談を行い、実習満了まで数カ月のためもったいない、中断して戻る選択肢はないかと説得したが、帰国の意思が固まっていた。帰国後に到着の連絡を受け、家族とも会えたと話していた。真面目な人材のため組合としても残念、もったいないと思うが、本人の気持ちを尊重したい。

【(株)マルハニチロ北日本 森工場様】

・今月は森工場様と宿舎を訪問。普段から3名にとっても良くして下さる日本人の方に、3名の様子を伺った。3名から話があったように関係は非常に良好、またお互いプレゼントを渡し合うほど仲が良く、娘のような存在とのこと。お世話になっていることの御礼を述べ、またこれほど良くして下さることは他工場様でも滅多になく、3名とも喜んでいたことをお伝えした。

監理・支援活動風景



名寄工場様宿舎巡回の様子。不仲だった人材の関係がすっかり改善されていた。



名寄工場様人材帰国の様子。特定技能になったら札幌工場様で働きたいと意欲を見せていた。



森工場様人材の宿舎を訪問。宿舎からホテルへ戻る最中に停電したと連絡があり、再度宿舎を訪問した。